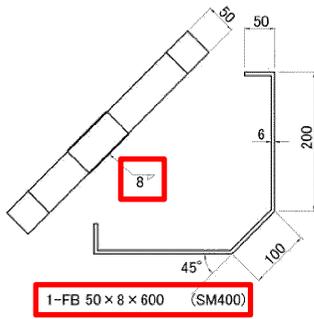
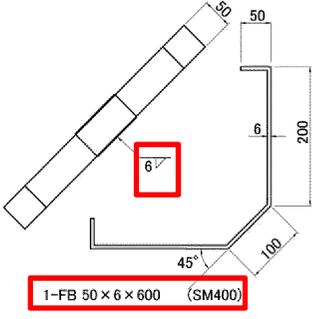


橋梁設計の手引き改定対照表

ページ (通しページ)	旧	新	理由
3-57	 <p>図 1.6.23 スラブアンカー</p>	 <p>図 1.6.23 スラブアンカー</p>	表記の修正
6-57	<p>7.2 橋梁への照明の設置</p> <p>橋梁区間における照明は、「道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月，日本道路協会）」にもとづき，次のように取り扱うものとする。</p>	<p>7.2 橋梁への照明の設置</p> <p>橋梁区間における照明は，「LED 道路・トンネル照明導入ガイドライン（案），平成23年9月，国土交通省」「道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月，日本道路協会）」「道路・トンネル照明機材仕様書（平成20年，建設電気技術協会）」にもとづき，次のように取り扱うものとする。</p>	表記の追加
6-58	<p>7.4 照明の設計</p> <p>(1) 照明方式の選定</p> <p>直線ポール方式を標準とする。</p> <p>(2) 光源の選定</p> <p>道路照明に使用する光源は，高圧ナトリウムランプ（長寿命タイプ）を標準とする。ただし，高圧ナトリウムランプは黄白色の光色であるため，演色性を考慮する場合や信号等と見誤るおそれがある場合は，白色系の光色のセラミックメタルハライドランプを用いることができる（「道路構造の手引き 第6編 8.4(平成23年4月，愛知県建設部)」を参照のこと）。</p> <p>又，省資源，省エネルギーの観点から，消費電力が少ないLEDランプを使用する際は本課と協議すること。</p>	<p>7.4 照明の設計</p> <p>(1) 照明方式の選定</p> <p>直線ポール方式を標準とする。</p> <p>(2) 光源の選定</p> <p>道路照明に使用する光源は，LED（発光ダイオード）とする。ただし，これにより難しい場合は，高圧ナトリウムランプ（長寿命タイプ）とする。なお，高圧ナトリウムランプは黄白色系の光色であるため，演色性を考慮する場合や信号等と見誤るおそれがある場合は，白色系の光色のセラミックメタルハライドランプを用いることができる（「道路構造の手引き 第6編8.4(平成23年4月，愛知県建設部)」を参照のこと）。</p>	

7.5 照明用器材

照明用器材の性能，構造及び材料等は「道路・トンネル照明器材仕様書（平成20年，建設電気技術協会）」

による。

(1) 配線設計

1) 配線設計は，原則として次による。

① 配電盤以降の電路は「電気設備の技術基準」における分岐回路とみなして設計する（ただし，集合の分電盤を設置する場合はこの分電盤までの電路は幹線とみなす。）。

② 分岐回路の定格電流は15A（配線用遮断器を使用する場合は20A）とする。ただし，水銀灯照明回路の定格電流は，受け口を大型口金(HF200以上は大型口金)とした場合に限り50A以下とすることができる。

③ 一般部の配線は原則として埋設式とする。

④ 配線に使用する主な材料は原則として表 7.5.1によるものとする。

表 7.5.1 配線に使用する主な材料

名 称	備 考
600V架橋ポリエチレン絶縁ケーブル (CV) JIS C3605 又は波付鋼管外装ケーブル (SC)	埋設部
600Vビニール絶縁ビニールシースケーブル (W) JIS C3342	ポール内

⑤ 計算に使用する「電流値」は「道路照明施設設置基準・同解説 表解3-1（平成19年10月，日本

道路協会）」の安定期入力VA を電圧で除したものとする。

⑥ 最大太さは，一般的には 38mm² とする。

7.5 照明用器材

照明用器材の性能，構造及び材料等は「道路・トンネル照明器材仕様書（平成20年，建設電気技術協会）」

による。

(1) 配線設計

一般部の配線は原則として埋設式とする。